

募集の概要

名称：ピッチコンテスト

応募資格：

研究代表者が、コンテスト(第 65 回学術集会)時点で、日本麻酔科学会正会員であり、かつ、満年齢が 50 歳以下であること。尚、研究分担者、協力者については下記の通りとします。

* 研究分担者（会員に限る）

研究代表者と研究項目を分担する研究者。

* 研究協力者（会員または非会員）

研究代表者の研究計画の遂行に協力する研究者。

応募方法：

募集要綱より『ピッチコンテスト応募用紙【Excel】』をダウンロードの上、申請してください。

公募期間：

2017 年 11 月 1 日～12 月 1 日※17 時必着

期間内に受け付けた応募書類より 5 月中旬までに第 65 回大会でのピッチコンテスト発表者を選考し、本人に通知します（1 次審査）。1 次審査通過者は履歴書、研究計画書、予算申請書を所定の書式によって、ピッチコンテスト実施までに提出いただきます。

審査員：

第 66 回学術集会実行委員、河本会長、西脇次期会長および同次次期会長（ただし、応募者と同一施設に属するか利害関係のある委員は該当課題の審査を行うことはできません）

提案発表:

第 65 回学術集会で提案内容をピッチコンテスト(2018 年 5 月 19 日(土)パシフィコ横浜)で発表

(発表に際しては、提案課題の背景・重要性、実績、課題実施能力、今回の研究費支援により何をどこまで明らかにするかを提案して頂きます。発表時間や方法については 1 次審査合格者にお知らせします)

給付者決定:

第 65 回学術集会で研究課題の提案を発表した会員の中から、研究支援金を給付する申請者を決定します。(2 次審査)

採択時に採択件数と支給額を決定し、学術集会終了後に申請者本人に通知し、公表します。

経費内容:

課題(A): 申請額=100 万円以内、研究期間=約 1 年 成果発表: 第 66 回学術集会

課題(B): 申請額=200 万円以内、研究期間=約 2 年 成果発表: 第 67 回学術集会

※いずれも分割支給。課題(A)か課題(B)のどちらか 1 件に限り応募可能、重複応募不可。

※支援総額は課題(A)と(B)を合わせて総額 500 万円以内。

給付額:

支援経費は研究の遂行に必要な経費として使用できますが、使途をあらかじめ学会に報告したもののうち、学会が承認したものだけが対象となりますので、いったん支給した後でも不適当・不適切な場合は対象とならないと判断され、返金を求めます。この場合は研究責任者が責任をもって返金してください。

成果発表:

第 66 回学術集会で課題(A)は成果発表を、課題(B)は途中経過を発表し、第 67 回学術集会で成果発表を必ず行うことが、ピッチコンテストに応募し研究支援金を受給する条件です。申請の成果がなかったと評価された場合は支給額の一部または全額の返還を求めることがあります。

課題(A)は成果発表が、課題(B)は途中経過および成果発表がされないときは、理由に拘わらず期日を指定して支給額全額の返還を求め、期日までに返還に応じないときは氏名と関連情報を公表します。

研究倫理等:

人を対象とした前向き臨床研究の場合、コンテスト(第 65 回学術集会)時点で、研究の事前登録および倫理承認等の必要な手続きが完了していることを発表時に明示してください。人を対象とした後ろ向き臨床研究の場合、倫理承認等の必要な手続きが完了していることを発表時に明示してください。上記以外の種類の研究は、適切な方法で倫理承認等の手続きが不要であることを明示してください。

使途明細:

支援を受けた応募課題は、第 66 回学術集会の演題応募時に、ピッチコンテスト課題である旨を明示し、第 66 回学術集会での成果発表の際には経費の使途明細を必ず提出してください。

論文化:

採択時に指定された大会で成果発表を必ず行い、原則としてその後 1 年以内に論文化することを応募書類提出時に誓約してください。なお、論文には日本麻酔科学会からの経費支援を受けたことを明示してください。他の支援金と同時に受領している場合はその旨明示してください。

論文化は制限期日の中で本人の申告によります。作成中の場合完成予定や投稿予定を聞いた上で、1 年間ほどはお待ちします。論文化=publication であり、公に引用可能な公刊物であればプローシーディングなども含まれます。研究期間中に投稿準備に費用発生が予測される場合は、研究費の一部として計上することも可能です。

分担者および協力者:

研究の遂行に責任を分担する研究者が複数あることが必要です。（多施設に所属する研究者でも構成可能です）

研究分担者は研究代表者と研究項目を分担する研究者とし、会員に限ります。研究協力者は研究代表者の研究計画の遂行に協力する研究者とし、会員または非会員でも可とします。

研究課題：

麻醉科学の進歩に寄与するものであれば、研究対象分野を問いません。なお、他の研究費の支援を受けている（予定を含む）課題は、応募時にこの課題との関係を応募書類に明示（経費支援機関、課題名、研究期間等）してください。

＜注意点＞

- ・応募者は研究の総責任を担う代表者（研究代表者）であり、ピッチコンテストの発表者であり、成果発表をする者と同一人であることが原則です。複数の研究者の共同研究を推奨します。
- ・公益社団法人である本学会は寄附を行うことが出来ない団体であるため、寄附金としての支弁、奨学寄附金口座への支弁は出来ません。従って、この企画への応募者は、適切な研究資金の管理が実現し、研究助成金を寄附金として受け入れずに研究を実施出来る施設の所属に限ります）
- ・研究代表者は研究開始前に、改めて学会に振込口座、および施設内処理の詳細の報告が必要です。研究支援のための施設としての口座運用ができない場合に限り、個人口座の利用を認めます。
- ・本研究経費に関して、違反が確認された場合は、助成金の全額返金、および何らかの処罰をされることがあります。また、予定された成果が達されない場合も、研究の停止および助成金の全額返還が求められますので、予め返金が可能な口座の指定が必要です。
- ・課題が採択されたら研究開始後、1年分の予定金額を研究代表者の指定口座に振り込みます。ただし、助成金上限内で3ヶ月毎に提出する研究計画とその予算額について本学会承認を受け、かつ研究結果と経費（予算）使用報告を以って助成金支弁が確定します。（研究代表者は3ヶ月毎に事前に3ヶ月分の研究計画提出と予算申請を行い、認められた計画・申請内容に対して適切な利用報告があった場合のみ助成金の使用が認められます）
- ・事後申請はいかなる場合も不適切使用となります。
- ・年間を通して、当初支出予定の金額に満たなかった助成金、ならびに不適切として、支出経費が研究経費と認められなかった場合は、助成金は本学会に返金頂きます。

課題応募, 採否決定, 成果発表の日程と要領

時期	応募, 採否, 発表等	備考
2017年11月1日～ 12月1日募集	11月10日メールマガジンで周知	
2017年12月に 応募書類審査	利益相反のない66回運営委員, 河本次期会長, 西脇次期会長による審査	65回大会ピッチコンテスト 発表課題を選択 (1次審査)
2018年1～2月に1次審査の合否を通知	履歴書, 研究計画書, 予算申請書を所定の書式にて, ピッチコンテスト実施までに提出	
第65回学術集会期間中に 提案課題発表	1次審査合格課題の発表 (これをピッチコンテストという) 2018年5月19日(土)での発表会を予定 (会場等詳細は1次審査通過者に直接通知)	ピッチコンテスト (一般演題と同様の発表形式で, 提案課題で何を研究して, どんな成果が期待できるかを提案すること)
2018年5月中に 応募書類審査	利益相反のない委員(第66回学術集会運営委員, 河本会長, 西脇次期会長および次次期会長)	経費を支援する提案課題を採択(2次審査)
2018年6月始めに 2次審査の結果を通知		採択決定者に経費支給
2019年の第66回 学術集会期間中	課題の成果発表【課題(A)】 課題の途中経過発表【課題(B)】	
2020年の第67回 学術集会期間中	課題の成果発表【課題(B)】	研究成果発表の実施